

科目名	指揮法Ⅰ			担当教員	木許 隆、木許 隆	
単位	1単位	講義区分	実技		ナンバリング	ED2MCD101
期待される学修成果	基礎教養 教科教育					
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	演奏家としての経験を活かし、教育現場における指揮法について実習する。					
授業の概要	音楽科の教員、また指導者として大切な指揮法について学ぶ。そして、指揮の起こり、指揮者の役割を十分理解した上で、基本技術を身に付ける。また、演奏する楽曲について学び、それにふさわしい指揮の技術を選択する力を養う。【デジタル技術利用：該当なし】					

授業計画	
第1回	指揮法概論 指揮の起こり、歴史、機能などを学ぶ。
第2回	指揮者の役割について学び、指揮法を分類する。
第3回	バトンテクニック① 指揮の基本動作と図形について学ぶ。
第4回	バトンテクニック② 打法について学ぶ。
第5回	バトンテクニック③ しゃくいについて学ぶ。
第6回	バトンテクニック④ 平均運動について学ぶ。
第7回	バトンテクニック⑤ 楽曲の停止、再開、終始について学ぶ。
第8回	間接運動のまとめ
第9回	バトンテクニック⑥ 瞬間運動について学ぶ。
第10回	バトンテクニック⑦ 先入法について学ぶ。
第11回	バトンテクニック⑧ はね上げ、引っかけについて学ぶ。
第12回	瞬間運動のまとめ
第13回	バトンテクニック⑨ テンポの変化、ダイナミクスの変化について学ぶ。
第14回	バトンテクニック⑩ フレージング、左手の指示について学ぶ。
第15回	総合的な指揮法のテクニックについてまとめる

事前学修	0.5時間	教科書の内容を一読し、不明な点を質問できるようにすること。
事後学修	0.5時間	各授業内容を楽譜内にまとめ、理解を深めること。
フィードバックの方法	レポート課題、対面授業内の指導によって、授業内容の習熟度、到達度をフィードバックする。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価		100%	毎授業の発表、第15回授業の実技発表を評価する。 受講態度、授業に対する意欲などを総合的に評価する。
補足事項			

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
指揮法教程	斎藤秀雄	音楽之友社	9784276141100140000	無
参考資料				